

「黒霧島」で知られる 霧島酒造が 14年連続でトップ

上位 50 社の売上高合計は 2 年連続で
対前年を下回る

焼酎メーカー売上高ランキング(2025 年)



本件照会先

秋山 進（調査担当）
帝国データバンク
福岡支店情報部
092-738-7779（直通）
tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/09/03

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

2025 年の焼酎メーカー売上高ランキングは、「黒霧島」などで知られる霧島酒造(株)(宮崎県都城市)が 14 年連続でトップ。2 位は、「いいちこ」ブランドを主力とする三和酒類(株)(大分県宇佐市)。3 位には「大分むぎ焼酎二階堂」などを展開する二階堂酒造(有)(大分県日出町)がランクインした。都道府県別でみると社数は「鹿児島県」が 21 社でトップ。売上高合計は、「宮崎県」が前年比 4.1% 減ながら 711 億 4200 万円で 11 年連続トップとなった。

帝国データバンク福岡支店では、売上高に占める焼酎・泡盛の割合が 5 割以上となった酒類製造業者(焼酎・泡盛以外の事業で計上した売上高も含む)を『焼酎メーカー』と定義。企業概要ファイル「COSMOS2」(約 151 万社収録)より、全国の焼酎メーカーの 2025 年(1 月期～12 月期)売上高をランキング形式により抽出し、上位 50 社の売上高や利益動向などについて集計した。なお、本調査は 2025 年 8 月に続く 23 回目。

はじめに

国税庁が発表した 2024 年度の国内酒類販売(消費)数量は、約 773 万 2368 キロリットルで、前年度比 1.1%減少し、2 年連続で前年度を下回った。外食需要や訪日外国人需要の持ち直しを背景に、業務用市場では回復の動きがみられた。そのようななか、発泡酒(前年度比 30.7%増)やビール(同 4.9%増)など一部の品目では酒類販売(消費)拡大が見られたものの、物価高による買い控え、若者を中心とした酒離れや消費者嗜好の多様化等により依然としてトータルでは前年度割れとなり、業界全体が厳しい状況に立たされている。

そのようななか、焼酎消費量は前年度比 4.1%減の約 63 万 9223 キロリットルとなった。2022 年度は 2 年ぶりに 70 万キロリットル台を回復したものの、前年度に引き続き 70 万キロリットルを下回った。焼酎市場が年々縮小傾向で推移しているなか、インバウンド需要や外食産業需要の回復の波にどれだけ乗れるかが今後の重要なポイントとなろう。

売上高ランキング

1 位 霧島酒造 525 億 4000 万円 (前年比 1.1%減)

全国焼酎メーカーの 2025 年(1月期～12月期)の売上高ランキングは、14 年連続^{※1}で霧島酒造(株)(宮崎県都城市)がトップとなった。前期に一部の地域で発売した「SUZUKIRISIMA」を通年販売としたほか、既存取引先を中心に深耕営業を行った。しかしながら、期中でイモの基腐病により赤霧島など一部商品の製造を制限するなどで販売量は前期を下回り、年売上高は前年比 1.1%減となった。

2 位 三和酒類 255 億 2000 万円 (前年比 2.1%減^{※2})

三和酒類(株)(大分県宇佐市)は、14 年連続で 2 位をキープした。“下町のナポレオン”の愛称で知られる「いいちこ」シリーズを主体に、地元大分県産の麦を使用した「西の星」ブランドを展開している。一方、節約指向や嗜好の多様化等によって、自宅飲み需要は伸び悩み、主力の紙パックのいいちこ商品等の販売は前期比微減となったようで、年売上高は前年比 2.1%減となった。

3 位 二階堂酒造 163 億円 (前年比 1.1%増)

二階堂酒造(有)(大分県日出町)が、前年と同様に 3 位にラインクインした。創業は慶応 2 年と云われ、当地古参の焼酎メーカーとして高い知名度を誇る。100%麦を使用したオリジナルブランド商品「大分むぎ焼酎二階堂」、「吉四六」、「豊後路」、「やつがい」、「焼酎倶楽部」などのブランドを揃えている。インバウンド解禁による外食産業などの業務向け販売の拡大や、原材料などの仕入れ単価上昇分の価格転嫁なども功を奏し、年売上高は前年比 1.1%増となった。

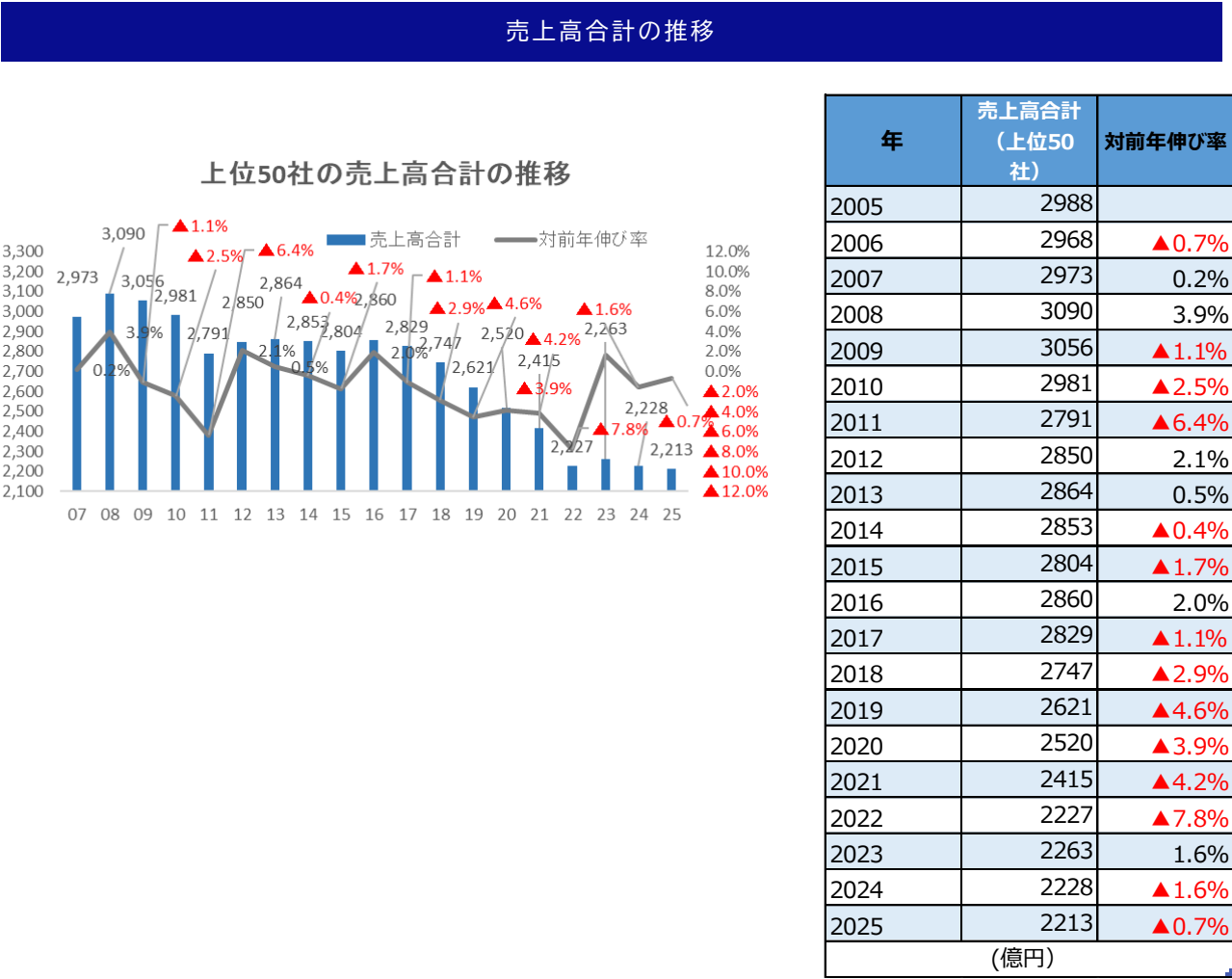
^{※1} 2015 年4月に旧・霧島酒造(株)は霧島ホールディングス(株)に商号を変更したうえで持ち株会社となり、新たに設立した霧島酒造(株)(2014 年 3 月設立)が酒類製造部門を継承した。順位は旧・霧島酒造(株)からの通算。

^{※2} 2022 年 7 月期から収益認識に関する会計基準を適用している。

売上高合計の推移

消費者嗜好の多様化に伴い、ウイスキーやワイン、RTD（缶チューハイなど）、クラフト酒類との競争が激しさを増すなか、焼酎メーカー各社はプレミアム商品の投入や海外市場の開拓、新たな飲用シーンの提案などに取り組んでいる。しかし、人口減少や若年層を中心とした酒類消費の低迷に加え、原材料価格や物流コスト、人件費の上昇が収益を圧迫しており、市場環境は依然として厳しい。こうしたなか、2025 年の上位 50 社の売上高合計は前年比 0.7%減の 2,213 億 2800 万円となり、2 年連続で前年実績を下回った。ピークとなった 2008 年（3,090 億 1,300 万円）と比較すると 28.4%減少している。焼酎市場では、家庭用需要に加えて、外食向け需要の回復も一服感がみられる。物価上昇の影響を受けた消費者の節約志向の高まりから、嗜好品への支出は慎重さを増している。各社は価格改定や高付加価値商品の販売強化によって収益確保を図っているものの、販売数量の伸び悩みを補うには至っていない。さらに、霧島酒造（株）や三和酒類（株）の減収も全体を押し下げる要因となった。その結果、上位 50 社の総売上高は前年を下回り、業界全体としては力強さを欠く展開となった。

なお、オエノングループは、焼酎事業の売上高構成比が 50%を下回ったため 2008 年から 2016 年まで集計対象外だったが、2017 年から再び対象となった。この影響を除き、時系列比較を可能とするため、2005 年までさかのぼって同グループを除外し、51 位企業を繰り上げて再集計した。なお、同グループは 2022 年分から再び集計対象外となったため、今回調査（2025 年）は実際の集計結果を用いている。



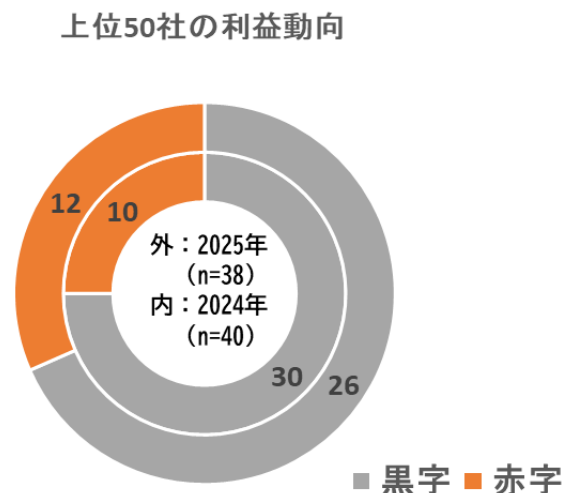
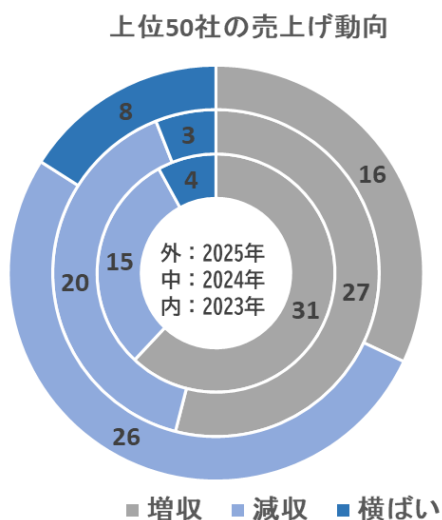
売上げ・利益動向

売上高動向をみると、「増収」企業が 16 社（前年 27 社）となり、前年から 11 社減少した。一方、「減収」は 26 社（同 20 社）と 6 社増加し、業界全体で厳しい事業環境が続いていることがうかがえる。背景には、物価高の長期化による消費者の節約志向の強まりがあり、家庭用需要が伸び悩んだほか、外食産業向け需要も回復ペースが鈍化したことが影響した。また、若年層を中心とした酒離れが続くなか、ビールやハイボール、RTD 飲料など他酒類との競争も激化しており、焼酎市場を取り巻く環境は依然として厳しい。加えて、コメや包材などの原材料価格上昇に伴うコスト負担の増加や、人件費、物流費の高騰も収益を圧迫した。各社は価格改定や高付加価値商品の投入、海外市場の開拓などで収益確保に努めているものの、市場縮小の流れを補うには至らず、減収企業の増加につながった。

利益動向をみると、税引後当期純利益が判明した 38 社のうち、「黒字」企業は 26 社で、構成比は 68.4%（前年 30 社、構成比 75.0%）と 6.6 ポイント低下した。一方、「赤字」企業は 12 社で構成比 31.6%（同 10 社、25.0%）となり、前年比 6.6 ポイント上昇した。円安の進行や原材料価格の高止まりに加え、人手不足に伴う人件費上昇、物流費の増加などのコスト負担が重くのしかかったものとみられる。こうしたコスト上昇に対し、一部企業では価格改定を実施したものの、消費低迷や競争激化を背景に十分な価格転嫁が進まず、収益性の低下を招いた可能性がある。

また、焼酎市場そのものが縮小傾向にあるなか、若年層の酒類離れや消費者嗜好の変化を受けて販売数量が伸び悩み、売上高の減少が利益を圧迫した企業も少なくない。さらに、販路拡大やブランド強化を目的とした広告宣伝費の投入、新商品の開発費用なども利益を下押しする要因となったとみられる。

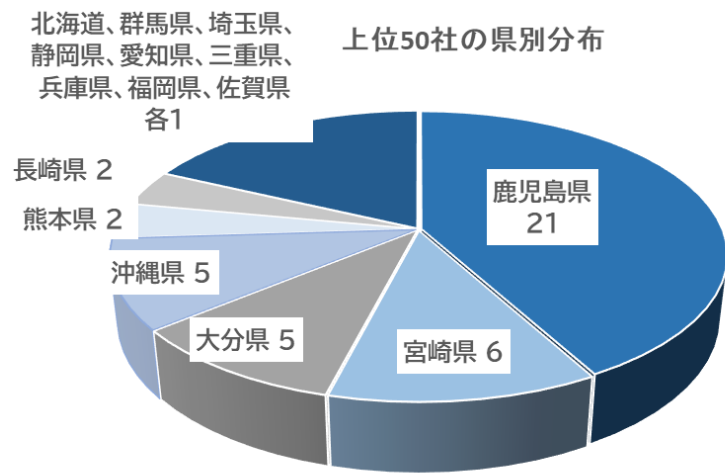
売上げ・利益動向



都道府県別の分布

売上高上位 50 社を本社所在地別にみると、「鹿児島県」が前年から 2 社減の 21 社でトップ。以下、「宮崎県」は前年比 1 社減の 6 社、「大分県」と「沖縄県」ともに 1 社増の 5 社で 3 位となった。 他方、都道府県別の売上高合計は、「宮崎県」が前年比 4.1%減ながら 711 億 4200 万円で 11 年連続トップとなった。2 位の「鹿児島県」は 2 社減の 21 社となったことや、一部企業ではなお基腐病の影響が残存していたこともあって出荷量が減少。減収企業が 11 社と半数以上を占めたこともあって年売上高は前年比 4.8%減となる 623 億 3800 万円となった。「大分県」は前年比 1 社増の 5 社となったこともあり、前年比 0.4%増となる 460 億 4400 万円となった。

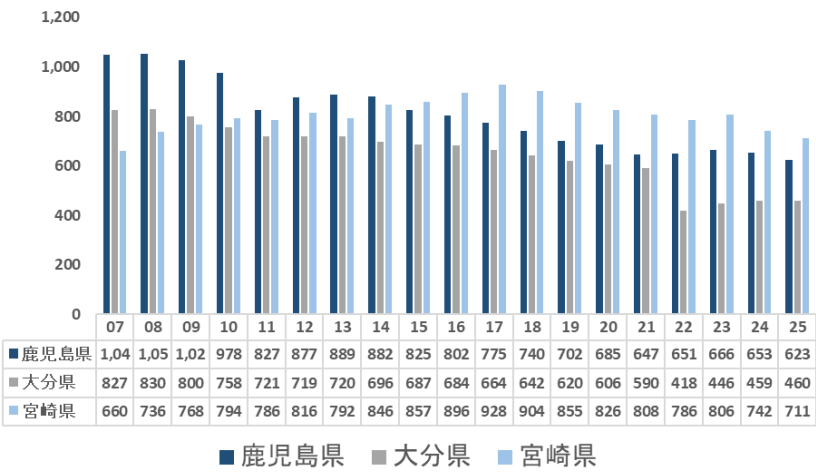
都道府県別の分布



各県別の件数推移

県名	2025年	2024年	増減
鹿児島	21	23	▲ 2
宮崎	6	7	▲ 1
沖縄	5	4	1
大分	5	4	1
熊本	2	2	0
長崎	2	2	0
北海道	1	1	0
群馬	1	1	0
埼玉	1	0	1
静岡	1	1	0
愛知	1	1	0
三重	1	1	0
兵庫	1	1	0
福岡	1	1	0
佐賀	1	1	0
合計	50	50	—

鹿児島・大分・宮崎の売上高合計推移



まとめ

2025 年の焼酎メーカー売上高ランキングは、「黒霧島」などで知られる霧島酒造(株)(宮崎県都城市)が14年連続で首位を維持した。また、ランキング上位企業の多くが長年にわたり地域ブランドを確立しており、焼酎文化の発信役として存在感を示している。売上動向をみると増収企業は16社にとどまった一方で、海外市場の開拓や観光需要の取り込みなどを背景に業績を伸ばした企業もみられた。利益面では、判明した38社のうち26社が黒字を確保しており、厳しい事業環境のなかでも約3分の2の企業が安定した収益基盤を維持していることがうかがえる。

酒類業界では、人口減少や少子高齢化に加え、健康志向の高まりによる飲酒機会の減少や若年層の酒離れが進行している。また、ウイスキーのハイボールやRTD(缶チューハイなど)、低アルコール飲料の需要拡大により、焼酎を取り巻く競争環境は一段と厳しさを増している。

2023 年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う外食需要の回復や各社の価格改定効果を背景に、焼酎メーカー上位50社の売上高合計が7年ぶりに前年を上回った。しかし、その後は回復基調に一服感がみられ、2025 年の上位50社の売上高合計は2213億2800万円となり、前年比0.7%減少。2年連続で前年実績を下回った。2008年のピーク時(3090億1300万円)と比較すると28.4%減となり、市場の縮小傾向が改めて鮮明となった。

背景には、物価上昇に伴う消費者の節約志向の高まりや若年層の酒離れによる市場縮小がある。加えて、コメや包材などの原材料価格の上昇に加え、エネルギーコストや物流費、人件費の高止まりが収益を圧迫した。また、芋焼酎メーカーの一部では、サツマイモ基腐病の影響による原料調達難が引き続き生じており、出荷数量の減少につながったケースもみられた。しかし、そのような環境下でも各社は価格戦略の見直しや生産効率の向上、ブランド価値の強化に取り組み、収益改善に向けた施策を進めている。

市場縮小が指摘されるなかでも、焼酎業界ではプレミアム商品の投入や海外輸出の拡大、新たな飲用シーンの提案など成長に向けた挑戦が活発化している。とりわけ、和食人気の高まりを追い風とした海外需要は今後の有望分野として期待されているほか、若年層や女性を意識した低アルコール商品やフレーバー商品の開発も進んでいる。伝統的な酒類でありながらも、新たな価値創造に取り組む企業は少なくなく、国内外での需要開拓やブランド力向上の成果が今後の市場活性化につながる可能性がある。焼酎業界は転換期を迎えているものの、各社の積極的な商品開発や販路拡大への取り組みが、新たな成長の原動力として注目される。

2025年 焼酎メーカー売上高ランキング 上位50社

(売上高は推定を含む)

順位	前年 順位	商号	所在地	主カブランド(※は甲類)	主な原料	創業	設立	決算 月	売上高 (百万円)	前年比
1	1	霧島酒造 (株)	宮崎県都城市	黒霧島、赤霧島	芋、麦	1916年	2014年3月	3	52,540	▲1.1%
2	2	三和酒類 (株)	大分県宇佐市	いいちこ、西の星	麦		1958年9月	7	25,520	▲2.1%
3	3	二階堂酒造 (有)	大分県速見郡	大分むぎ焼酎二階堂、吉四六	麦	1866年	1964年12月	6	16,300	1.1%
4	4	濱田酒造 (株)	鹿児島県いちき串木野市	海童、だいやめ、隠し蔵	芋、麦	1868年	1951年7月	6	15,005	2.1%
5	5	雲海酒造 (株)	宮崎県宮崎市	木挽BLUE、日向木挽、雲海、いいとも	芋、ソバ、麦		1967年11月	9	12,564	▲10.0%
6	6	(株) 宮崎本店	三重県四日市市	※キンミヤ焼酎	麦	1846年	1951年3月	9	9,876	7.6%
7	7	若松酒造 (株)	鹿児島県いちき串木野市	薩摩一、薩州麦、わか松	芋、麦	1719年	1953年9月	6	7,036	▲4.6%
8	8	薩摩酒造 (株)	鹿児島県枕崎市	さつま白波、黒白波、神の河	芋、麦		1936年3月	6	6,600	▲9.1%
9	9	本坊酒造 (株)	鹿児島県鹿児島市	あらわぎ、桜島	芋、麦	1872年	1955年10月	6	6,178	▲1.8%
10	10	高橋酒造 (株)	熊本県人吉市	白岳、白岳しろ	米	1900年	2001年11月	9	5,977	3.3%
11	11	美峰酒類 (株)	群馬県高崎市	※司、上州むぎ焼酎	麦	1941年	2007年10月	9	3,924	▲2.4%
12	12	大口酒造 (株)	鹿児島県伊佐市	黒伊佐錦、伊佐錦	芋		1970年8月	3	3,685	▲5.9%
13	13	神楽酒造 (株)	宮崎県高千穂町	ひむかのくろうま、天孫降臨、天照	麦、ソバ、芋		1954年11月	9	3,200	0.0%
14	14	長島醸造 (有)	鹿児島県長島町	さつま島美人	芋		1967年2月	9	2,818	▲6.2%
15	16	新平酒造 (株)	鹿児島県大崎町	大金の露、金計佐	麦、芋	1904年	1988年6月	6	2,700	4.1%
15	15	岩川醸造 (株)	鹿児島県曾於市	おやつとさあ、ハイカラさんの焼酎	芋、麦	1870年	1922年11月	3	2,700	1.5%
17	19	三岳酒造 (株)	鹿児島県久島町	三岳、やくしま	芋		1949年11月	9	2,300	1.1%
18	18	宗政酒造 (株)	佐賀県有田町	のんこの、黒泉山	麦、芋		1985年5月	8	2,252	▲1.4%
19	17	(株) 都城酒造	宮崎県都城市	あなたにひとめぼれ、みやこんじょ	芋、麦	1879年	1956年2月	8	2,238	▲8.6%
20	-	(株) 釜屋	埼玉県加須市	※焼酎甲類	米	1748年	1949年5月	6	2,149	0.0%
21	22	福井酒造 (株)	愛知県豊橋市	※自遊自在、千年浪漫	サトウキビ・酒粕	1912年	1948年10月	9	1,929	0.0%
22	20	札幌酒精工業 (株)	札幌市西区	※サッポロソフト、喜多里	芋		1933年10月	9	1,986	▲3.7%
23	23	老松酒造 (株)	大分県日田市	閼魔、麴屋伝兵衛	麦	1789年	1973年12月	3	1,834	▲2.0%
24	24	(株) 奄美大島開運酒造	鹿児島県奄美市	れんと、紅さんご	サトウキビ	1954年	1998年2月	9	1,826	▲2.1%
25	21	鷹正宗 (株)	福岡県久留米市	めちやうま	麦		1935年11月	12	1,823	▲9.5%
26	26	八鹿酒造 (株)	大分県九重町	銀座のすずめ、なしか！	麦	1864年	1949年11月	9	1,800	0.0%
27	25	町田酒造 (株)	鹿児島県龍郷町	星の曙	サトウキビ		1983年10月	3	1,785	▲3.8%
28	30	まさひろ酒造 (株)	沖縄県糸満市	まさひろ、島唄	米	1883年	1965年8月	8	1,617	9.6%
29	32	ヤエガキ酒造 (株)	兵庫県姫路市	※甲 (カフト)、あらき	米、麦	1666年	1962年12月	9	1,592	17.3%
30	27	(株) 久米島の久米仙	沖縄県浦添市	久米島の久米仙	米	1949年	1993年7月	12	1,539	▲4.2%
31	29	田苑酒造 (株)	鹿児島県薩摩川内市	田苑	麦、芋	1890年	1976年6月	6	1,462	▲7.2%
32	31	玄海酒造 (株)	長崎県杵岐市	むぎ焼酎杵岐、一支園いき	麦	1900年	1985年2月	4	1,460	1.6%
33	37	千寿酒造 (株)	静岡県磐田市	千寿、稲泉	米	1902年	1983年11月	9	1,458	18.7%
34	28	(有) 比嘉酒造	沖縄県読谷村	残波	米	1948年	1985年8月	2	1,343	▲18.2%
35	39	大隅酒造 (株)	鹿児島県曾於市	大隅	芋、麦		2005年9月	12	1,255	12.4%
36	34	佐藤酒造 (有)	鹿児島県霧島市	佐藤、さつま	芋、麦	1906年	1952年4月	5	1,250	0.0%
37	33	(株) 奄美大島にしかわ酒造	鹿児島県徳之島町	島のナポレオン	サトウキビ		1980年4月	9	1,200	▲7.9%
38	36	白玉醸造 (株)	鹿児島県錦江町	魔王、白玉の露	芋	1904年	1953年2月	3	1,100	0.0%
39	40	大海酒造 (株)	鹿児島県鹿屋市	さつま大海	芋		1975年6月	6	800	6.3%
40	41	さつま無双 (株)	鹿児島県鹿児島市	さつま無双、くろはち	芋、麦		1970年10月	6	720	▲1.9%
41	42	(株) 霧島町蒸留所	鹿児島県霧島市	明るい農村	芋		1977年11月	9	670	0.0%
42	38	萬世酒造 (株)	鹿児島県南さつま市	薩摩萬世、蔵多山	芋	1899年	1985年11月	6	670	▲52.4%
43	43	井上酒造 (株)	宮崎県日南市	鉄肥杉	芋、麦、デーツ	1894年	1976年10月	6	600	▲0.8%
44	47	(株) 恒松酒造本店	熊本県多良木町	米一石、墮天使	芋、米、麦	1917年	2001年12月	3	598	2.0%
45	-	ぶんご銘醸 (株)	大分県佐伯市	ぶんご太郎、香吟のささやき	麦	1910年	1953年6月	9	590	62.5%
46	-	(株) 石川酒造場	沖縄県西原町	玉友盛仕込み	米	1959年	1993年4月	3	590	0.0%
47	45	国分酒造 (株)	鹿児島県霧島市	さつま国分、フランミンゴオレンジ、いも麴芋	芋		1970年7月	9	578	▲2.6%
48	49	高千穂酒造 (株)	宮崎県高千穂町	高千穂、わかむぎ	麦、米、ソバ	1902年	1976年2月	3	567	0.2%
49	44	新里酒造 (株)	沖縄県うるま市	かりゆし、古酒琉球GOLD	米	1846年	1950年10月	6	566	▲6.5%
50	48	奄岐の蔵酒造 (株)	長崎県奄岐市	奄岐っ娘、奄岐の島	麦		1984年5月	9	558	▲4.8%
51	46	櫻の郷酒造 (株)	宮崎県日南市	無月、赤魔王	芋、麦	1894年	1962年7月	6	546	▲8.4%